

# QOH (Quality Operate Hawkeye) Ver.1.0 -システム導入/管理編- 正誤表

2008年2月8日 クオリティ株式会社

■ マニュアルの内容に誤りがあります。

『QOH (Quality Operate Hawkeye) Ver.1.0 -システム導入/管理編-』マニュアルの P.16 を以下の内容に差し替えてください。

## ログ標準設定例の参考値

ログ取得の概算レコード数と、クライアントPC500台で90日間稼働させた場合の想定レコード数は、下表のようになります。

必要なディスク容量は、下表を参考に算定してください。

ログ名称	1日のログ (概算レコード数)	クライアントPC1台分 の1日あたりの概算 容量 (byte)	想定レコード数 (PC500台90日)
プロセス起動	165	59,392	7,425,000
ドキュメントアクセス	19	9,708	855,000
WEBアクセス	1696	586,875	76,320,000
ファイル操作	830	308,429	37,350,000
プリンタ操作	37	16,957	1,665,000
ウィンドウタイトル	598	206,479	26,910,000
メール	277	575,324	12,465,000
クリップボード	74	36,495	3,330,000
FTP操作	10	12,206	450,000
スナップショット	20	332,349	900,000
ログオン	1	1,720	45,000
システム	5	<b>5,448</b>	225,000
合計 : 2,151,382			

### ☐ メモ 必要なデータベース容量について

クライアント1台分の1日あたりの概算容量×クライアント数×ログ取得日数=データベース容量です。

運用DBでは、トランザクションログ用として、データベース容量とほぼ同量のディスク容量が別途必要となります。

ただし、トランザクションログは、DB分割処理の際、約100KBに縮小されるため、分割DBで必要なディスク容量は、データベース容量+約100KBとなります。